

平 2 9 年 度 岡 山 市 市 民 協 働 推 進 モ デ ル 事 業 報 告 書

実 施 団 体	団体名	NPO 法人だっぴ （ 担当者 河原彩花 ）			
	合同実施団体				
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	教育委員会事務局指導課		電話	086-803-1592
	担当者 2名	職名	指導副主査	職名	室長補佐
		氏名	永守好宏	氏名	馬場真一
	課名	教育委員会生涯学習課		電話	086-803-1606
	担当者 2名	職名	係長	職名	主任
		氏名	岡崎公也	氏名	寺島安代
事業の名称	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育授業の実施と展開				
<p>本事業により解決を目指した課題とその成果</p> <p>※アンケートなどあれば添付してください。</p>	<p>中学生が、地域の大人（保護者）や大学生らと交流することで、自己肯定感を高め、将来の選択肢を増やせるようなキャリア教育プログラムを実施し、学校や地域社会に展開させていくことを目的に、過去2年行ってきた事業を岡山市に定着させ、市内中学校または地域に広げていくことを目標とした</p> <p>■事業の実施</p> <p>(1)プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が地域の大人や働く人、大学生らと生き方や仕事、勉強の意味などについて語り合う交流プログラム「中学生だっぴ」を開催する <p>(2)応援者の拡大や認知度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の大人として、PTAや地域団体（自治会、青年団など）、地域の企業などを中心に継続して実施できる体制が築かれるように呼びかけ、企画や当日へ参加してもらう ・大学授業連携と企業連携を進め資源の確保をする ・大学生などの若者は、大学との連携を進め、中学生のメンター的な役割で参加してもらうと共に、より中学生に学びと気づき起きるよう事前のファシリテーター講習を受講してもらう。 ・生涯学習課の協力を得て岡山市学校支援ボランティア登録学生を対象に参加募集を行う。 <p>(3)成果のまとめと発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導課を通して学校への募集告知を行うと共に、実施した内容は、報告書等として整理し学校等に対し発信する ・地域での開催を広げていくために、開催マニュアルの作成を行う <p>■事業成果</p> <p>※別添の中学生だっぴ報告書、だっぴ開催マニュアルをご覧ください。</p>				

<p>市と協働した内容と協働の効果</p>	<p>1. NPO 法人だっぴが果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全体の企画とコーディネート（ボランティアの確保、大学連携、企業連携促進） ・各学校との継続性を踏まえた企画準備とサポート ・参加者の学びと気づき、繋がりが深まるようなプログラム作成と当日までの準備および当日を含めた運営 ・プログラムの実施評価とマニュアルの作成 <p>2. 岡山市の担当課等が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市内中学校への開催機会公布と開催希望申し込みの取りまとめ ・学校支援ボランティアボランティアへの声かけ ・岡山市施策化への方法模索 <p>3. 協働した効果</p> <p>下記の短期、長期目標を定めて実施した</p> <p>【短期目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 開催校での、確実な開催と参加者の自己肯定感や地域愛着の増減調査 結果→参加者(中学生、大学生、大人)への記述・選択式のアンケートによる調査を実施した ② 大学や企業との連携による協力ボランティアや資金の調達 結果→本年度説明会を受講し、だっぴキャストとして98名が登録 岡山大学との授業連携を行い、対象講義を受講する1年生が本プログラムに参加した ③ 地域での開催を上げていくための、開催マニュアル作成と公表 結果→だっぴ開催マニュアルを作成した ④ 報告会の開催 結果→報告会は開催せず、学校教員の研修等で報告や情報提供をする事とした <p>【長期・最終目標】</p> <p>市内のすべての中学校(38校)を対象として、各校が希望する時期、規模でのプログラム提供が可能となる仕組み、体制の構築を目指す。なお提案団体だけでなく、学校(教職員)や地域の団体などが運営主体となることを視野に入れ、本事業にて作成するマニュアルの継続的な精査・普及に努める。</p> <p>結果→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般施策化を目指したが、予算化が出来なかった ・継続を視野に入れた打ち合わせやふりかえりを行うことで、開催希望校の意識の変化が見られた。次年度開催についてどのように行うかを共に検討することができた。 ・建部中学校では、公民館などと協力し地域の大人にも企画打ち合わせに参加を依頼。地域の方と一緒に地域の未来やそのために中学生にどのような事ができるかを検討する場を設けた。来年度、地域の課題解決などに取り組みながら自己実現をしていく活動を中学校と公民館主体で開始する見込み。 ・マニュアルを作成。法人や担当課だけでなく、校長先生やPTAの方にもご意見をいただきながら実際に開催・普及につながる内容となるよう心がけた。
<p>事業の内容</p> <p>※事業内容が具体的にわかる資料を添付してください。(チラシ、報告書、写真等)</p>	<p>主に以下2つの事業を行なった。詳細は下部に記載する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中学生だっぴの実施 中学生と地域の大人や大学生らが生き方や仕事、勉強の意味などについて、互いに語り合い学び合う交流会「中学生だっぴ」を開催した。 2. マニュアル作成 地域の各主体(地域団体、学校、公民館など)が本モデル授業を地域で実施する場合の開催マニュアルも作成し公布する。

1. 中学生だっぴの実施

(1)大人としての保護者等（PTA、地域人材、企業）との連携

- ・上記交流会の大人として、地域の大人や保護者、地元企業などを中心に呼びかけ参加者を募った。
- ・希望校5校の内1校が辞退。4校での開催となった。

(2)大学、大学生との連携

- ・岡山県内の大学生に呼びかけ、中学生のメンター的な役割で参加
- ・参加する大学生には、中学生に学びと気づき生まれる場へのサポートができるよう、事前にNPO法人だっぴの講習への参加を必須とした
- ・合わせて、大学の授業連携を進め、大学生の社会参画機会を増大すると共に事業の継続性を確保するように意識した
→岡山大学での講義をNPO法人だっぴで担当し、大学生のキャリア形成の関心を高め、学外の多年代の人々と交流を図り視野を広げると共に、中学生の学びに寄与した。

実践講義として、「岡山中央中学生だっぴ」に岡山大学学生が参加。講義の中で、聴き方やファシリテーションなどを学び、当日はキャストとして、中学生と地域の大人のつなぎ役として活動した。
→吉備国際大学の学生が、岡山中央中学校の企画からだっぴキャスト(大学生)と共に携わった。企画ミーティングに出席し、プログラムの協議やキャスト向けガイダンスの実践。当日のキャスト参加、またふりかえりなど。一連の企画に携わった。その際、大学教員とのやりとりを密に行い、学生の活動への理解と成長について協力して尽力した。

(3)学生ボランティア参加者の募集連携

行政と協働していることにより、法人への社会的信頼感が上がり協力が繋がった。

生涯学習課

岡山市学校支援ボランティア参加学生を対象に参加募集を行った

大学 県内大学との連携

- 岡山大学
授業内でのボランティア機会の告知と募集
スクールボランティアフェアへの参加
- 岡山理科大学、岡山県立大学
授業内でのボランティア機会の告知と募集
- 清心女子大学、環太平洋大学
教授からの研究室学生への紹介

告知機会はあるものの参加した学生は少なかった。今後大学の教授などと関係を築きながら、信頼関係の中で学生の募集につなげていく。

企業

- 市内数社よりボランティアとして、本プログラムに地域で働く大人として参加。今後も継続して参加を募る見込み。

(4)広報（実施校への呼びかけ）

- ・事業の実施について、教育委員会と協力してモデル実施校の募集と決定を行った
- ・開催希望校が継続して本事業を実施できるよう、PTAなど地域団体と協力できる

体制がある事、また実施後の継続性を地域団体と共に作る事を重視し開催審査を行う事を伝えた。

- ・事業の実施結果は、報告書として整理し開催校へ報告・共有を行った
- ・また法人ホームページや SNS で成果の発信を行い、認知度の向上や支援者の増加を図った。

(5)当日のプログラム

以下、岡山市立中学校 4校で本プログラムを実施した。

詳細な実施のねらいや内容については、各学校の教員や生徒にヒアリングを行い、各企画担当者や協力者と共に考えた。

【プログラム内容】

- ・参加者（中学生と地域の大人、大学生ら）が持つそれぞれの経験や価値観、働き方等をテーマにした交流プログラム。
- ・詳細な実施のねらいや内容については、各学校の教員や生徒にヒアリングを行った。
- ・各企画担当者や協力者と共に組み立てた。

※各校における詳細な内容と成果は別添えの各報告書をご覧ください。

足守中学生だっぴ

【日時】2017年6月25日(土) 8:50~10:55

【場所】足守中学校

【対象】中学3年生 41名

【協力】大人 20名（足守学区 10名、学区外 10名）

キャスト 19名

【実施体制】

中学校、PTA、地域コーディネーター、だっぴの4者で企画打合せを実施
PTAや地域コーディネーターが中心となり参加する大人への声かけを行い
当日の運営は法人と学校、PTAが協力して行った。

旭東中学生だっぴ

【日時】2017年10月21日(土) 10:00~12:00

【場所】旭東中学校 各教室

【対象】中学1年生 299名

【協力】大人 84名、キャスト 98名

【実施体制】

中学校で継続的に実施できるように、3カ年計画を学校主体で作成した。本年は1年生対象にプログラムを実施し、2年後3年生になった参加生徒がファシリテーター的な役割を担い、中学校区のおとなとの交流機会を継続して開催する。

進行方法は、学校と法人が主な方向を協議しながら内容やスケジュールを作成。生徒の不安を軽減しモチベーションを高めるため、中学校でだっぴ実行委員を結成。各学級より代表2名が集まり、事前のトーク練習や大学生との交流を行った。また、周辺高校より旭東中学校卒業生にキャスト的な役割での参加協力を呼びかけ4名が事前講座と当日のプログラムへ参加した。今後の周辺高校との連携につなげていきたいと考えている。

岡山中央中学生だっぴ

【日時】2018年1月13日(土) 9:00~12:00

【場所】岡山中央中学校 体育館

【対象】中学2年生 95名

【協力】大人 58 名、キャスト 45 名

【実施体制】

中学校と法人でねらいや内容について協議。大人の声かけは学校教員が行い不足人数をだっぴの大人登録者などに呼びかけた。

建部中学生だっぴ

【日時】2018 年 2 月 21 日(水)

【場所】建部中学校 体育館

【対象】中学 2 年生 26 名

【協力】大人 16 名 (学区内 10 名、学区外 6 名)、キャスト 9 名

【実施体制】

学校と法人に加え、地域団体(たけべおこしプロジェクト)と共に企画とその前後について協議。また、建部公民館と同時期に建部で活動をしていた“残したい仕事と人づくり研究会”、“みんなで作る財団おかやま”と、今後の建部での動きを共有し一過性のイベントではなく、より中学生の成長を促進したり 地域に残っていくことができるか連携方法を協議した。

今後の協力関係も見据え地域の大人へ声かけを行い、事前にどのような未来や中学生にとってどのような機会である事を望むかをワークショップ形式で検討。実施後にもふりかえりを行い、中学生のアンケートやそれぞれの感じたことを持ち寄り“たけべ部”の提案を行った。

(6)課題

- ① 開催希望者が開催にかかる準備等に労力をかけられない場合、サポートできる仕組みが必要。
- ② 学校での開催、年度を跨ぐため後任者が開催を希望しない場合がある。その際の柔軟な対応や募集時期の検討が必要。

2, マニュアルの作成と公布

地域の各主体が本プログラムを地域や学校で実施し、地域に根付き継続しながら広がる事をねらいとして開催マニュアルを作成した。また、上記を広く関係者に告知すると共に、実施の相談からサポートを行える体制を整えていく。

○マニュアルについて

対象：だっぴを開催したい個人、団体(地域、学校、その他)、保護者

公布方法：岡山市内中学校へ送付(だっぴ)、キャリア教育担当者研修での配布(指導課)

法人ホームページ・SNS などでの公表

市内公民館・図書館などへの設置(生涯学習課)、希望者への発送

発行部数：2000 部

3, 報告会の開催

当初行う予定だった報告会は協議の結果開催しない事を決め、以下 2 回の来年度プログラム実施へ向けての広報を行う事とした。

平成 30 年 1 月 副校長教頭会で指導課より、法人の公募開催枠についての説明を行った。

平成 30 年 4 月 キャリア教育担当者研修にて、プログラムの紹介とマニュアルの配布を行う予定

<p>事業実施の体制 ・実施者名</p>	<p>1. 総括責任者 柏原 拓史 (代表理事)</p> <p>2. 個別事業責任者 河原 彩花 (事業担当)、森分 志学 (事務局長)</p> <p>3. その他事業従事者 役割・氏名</p>																					
<p>事業実施経過</p>	<p>開催時期が後期に偏ったため、予定のスケジュールより3ヶ月程度後ろ倒しでの取り組みとなった。</p> <table border="1" data-bbox="504 654 1414 1312"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～5月</td> <td>・実施校との調整 ・検討委員会の設置準備 ・学生向け周知・広報の開始</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>・足守中学生だっぴの開催</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>・旭東中企画開始</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>・旭東中学生だっぴの開催 ・岡山中央中企画開始</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>・建部中企画開始</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>・吉備国インターン合流 (岡山中央中) ・岡山大学授業開始 ・建部地域のおとな向け打ち合わせ、ガイダンス</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>・岡山中央中学生だっぴの開催 ・次年度実施校の募集開始と広報</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>・建部中学生だっぴの開催 ・たけべ部立ち上げサポート ・だっぴ開催マニュアルの作成</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>・だっぴ開催マニュアルの完成 ・マニュアルの公布 ・次年度開催希望校との打ち合わせ</td> </tr> </tbody> </table>		月 日	実施内容	4月～5月	・実施校との調整 ・検討委員会の設置準備 ・学生向け周知・広報の開始	6月	・足守中学生だっぴの開催	7月	・旭東中企画開始	10月	・旭東中学生だっぴの開催 ・岡山中央中企画開始	11月	・建部中企画開始	12月	・吉備国インターン合流 (岡山中央中) ・岡山大学授業開始 ・建部地域のおとな向け打ち合わせ、ガイダンス	1月	・岡山中央中学生だっぴの開催 ・次年度実施校の募集開始と広報	2月	・建部中学生だっぴの開催 ・たけべ部立ち上げサポート ・だっぴ開催マニュアルの作成	3月	・だっぴ開催マニュアルの完成 ・マニュアルの公布 ・次年度開催希望校との打ち合わせ
月 日	実施内容																					
4月～5月	・実施校との調整 ・検討委員会の設置準備 ・学生向け周知・広報の開始																					
6月	・足守中学生だっぴの開催																					
7月	・旭東中企画開始																					
10月	・旭東中学生だっぴの開催 ・岡山中央中企画開始																					
11月	・建部中企画開始																					
12月	・吉備国インターン合流 (岡山中央中) ・岡山大学授業開始 ・建部地域のおとな向け打ち合わせ、ガイダンス																					
1月	・岡山中央中学生だっぴの開催 ・次年度実施校の募集開始と広報																					
2月	・建部中学生だっぴの開催 ・たけべ部立ち上げサポート ・だっぴ開催マニュアルの作成																					
3月	・だっぴ開催マニュアルの完成 ・マニュアルの公布 ・次年度開催希望校との打ち合わせ																					
<p>実施上で連携した団体とその内容</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>連携内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岡山大学</td> <td>大学の講義と連携し、学生の成長機会としての活用と協力</td> </tr> <tr> <td>岡山理科大学</td> <td>講義内でのだっぴキャスト募集の告知</td> </tr> <tr> <td>作陽大学</td> <td>講義内でのだっぴキャスト募集の告知</td> </tr> <tr> <td>環太平洋大学</td> <td>だっぴキャスト募集ちらしの配布</td> </tr> <tr> <td>吉備国際大学</td> <td>インターン生の企画参加 (岡山中央中学校)</td> </tr> <tr> <td>岡山市立建部公民館</td> <td>中学生だっぴ開催の際の地域のおとなコーディネートおよび大人向け事前講座・打ち合わせの調整と運営 (建部中学校)</td> </tr> <tr> <td>たけべおこしプロジェクト</td> <td>建部中学生だっぴ開催とあわせ、参加中学生の団体の活動への接続を検討</td> </tr> </tbody> </table>	名称	連携内容	岡山大学	大学の講義と連携し、学生の成長機会としての活用と協力	岡山理科大学	講義内でのだっぴキャスト募集の告知	作陽大学	講義内でのだっぴキャスト募集の告知	環太平洋大学	だっぴキャスト募集ちらしの配布	吉備国際大学	インターン生の企画参加 (岡山中央中学校)	岡山市立建部公民館	中学生だっぴ開催の際の地域のおとなコーディネートおよび大人向け事前講座・打ち合わせの調整と運営 (建部中学校)	たけべおこしプロジェクト	建部中学生だっぴ開催とあわせ、参加中学生の団体の活動への接続を検討					
名称	連携内容																					
岡山大学	大学の講義と連携し、学生の成長機会としての活用と協力																					
岡山理科大学	講義内でのだっぴキャスト募集の告知																					
作陽大学	講義内でのだっぴキャスト募集の告知																					
環太平洋大学	だっぴキャスト募集ちらしの配布																					
吉備国際大学	インターン生の企画参加 (岡山中央中学校)																					
岡山市立建部公民館	中学生だっぴ開催の際の地域のおとなコーディネートおよび大人向け事前講座・打ち合わせの調整と運営 (建部中学校)																					
たけべおこしプロジェクト	建部中学生だっぴ開催とあわせ、参加中学生の団体の活動への接続を検討																					
<p>本事業を踏まえた、</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。</p> <p><input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。</p> <p><input type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。</p>																					

翌年度以後の予定	<p>■その他（だっぴ開催マニュアルを広く配布し、関心や必要のある地域、対象が開催できるよう伴走や支援を行う。)</p> <hr/> <p>具体的な計画があれば記載してください。</p> <p>法人による公募枠を設置。岡山県内で5校を募集し、将来的に地域での継続開催を希望している事かつ主催者が主体性を持って取り組む気持ちがある事を基準に審査を行なった。また、公募に落選した学校や地域については、実施希望校との開催方法の相談や支援を継続して行い、岡山市内での実施方法を開催希望者・学校とともに模索していく見込み。今後公募枠などの開催機会情報は、市教委と相談し広報方法を検討する。</p>
----------	--

(様式第7号)

平成29年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育授業の実施と展開
-----	-----------------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	548,053	
	その他	0	
自己資金等合計(a)		548,053	
事業収入			
事業収入合計(b)		0	
その他収入		0	
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		1,623,000	
収入合計(e) = (a)+(b)+(c)+(d)		2,171,053	

<支出>

費目		金額	内訳	証拠書類番号
事業実施経費	印刷製本費	183,505		1~8
	消耗品費	100,588		9~20
	諸謝金	194,000		21~42
	旅費交通費	87,040		59~86
	研修費	1,500		87
	広告宣伝費	152,000		88
	賃借料	7,000		89
	通信運搬費	9,020		90、91
事業実施経費合計(f)		734,653		
管理運営経費	人件費	1,436,400		43~57
管理運営費合計(g)		1,436,400		
総事業費(h) = (f)+(g)		2,171,053		